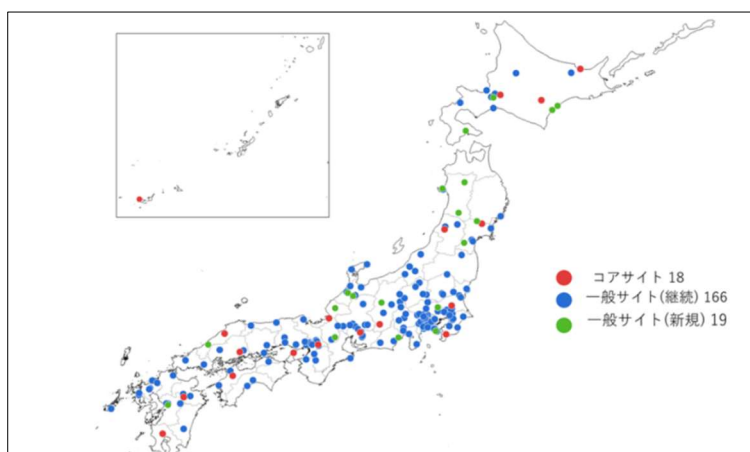


モニタリングサイト1000里地調査

「モニタリングサイト1000(以下、モニ1000)」は、「第二次生物多様性国家戦略」に基づき、環境省生物多様性センターが2003年度から開始した事業です。全国約1000カ所に調査サイトを設定し、動植物の生育生息状況などを100年にわたり同じ方法で調べ続けることで、生態系の変化をいち早く把握することを目的としています。

モニ1000のうち、里地里山の調査は、日本自然保護協会が事務局となり、市民が主体となって調査しています。下の地図に示したように、全国200ヶ所で調査をしています。



モニ1000里地調査 2023~2027年度の調査地(日本自然保護協会)

2013年からは、軽井沢サクラソウ会議も一般サイトに応募し、この調査に加わりました。軽井沢タリアセンの里山で、同じルートを歩き、植物(花・つぼみ・実)を見つけ、記録する調査を行っています。(毎年4月~10月まで、月1回の頻度で。)現在でも、新発見の植物を見つけると、感動して記録しています。



モニ1000調査風景 2022年8月28日(撮影:今城治子)

全国での2019年までの10年間の調査により、里山の普通種といわれてきたチョウやホタルなどの生物種の多くが減少傾向にあることが示されました。